くも合戦

かじき 広報

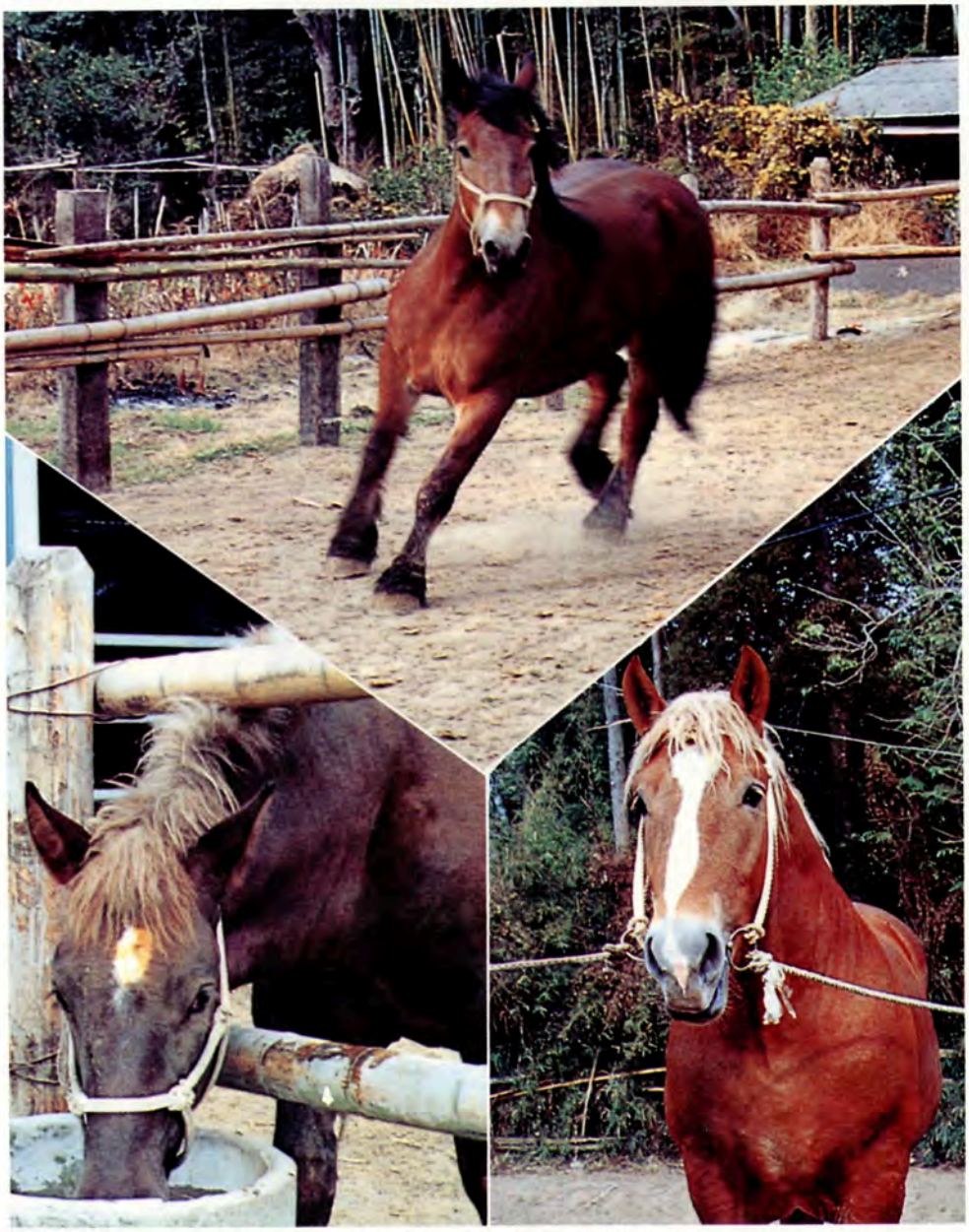
題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き

（平成元年12月1日現在）

総人口23,839人（−12）	出生　20人
男　11,230人（＋1）	死亡　14人
女　12,609人（−13）	転入　70人
世帯数 8,302　（＋3）	転出　88人

●（　）内は前月との比較●



新春に駆ける（楠原の榎田静雄さん宅で）

今年は午年

平成二年は午年です。人類が馬を家畜として飼い始めたのは、牛よりも遅く、紀元前四千年ごろと推定されています。そして今日まで、運搬用、農耕用、乗馬用はもちろん、戦争や狩猟にも馬は登場します。

こうした馬と人間との密接な間柄を反映して、馬についての諺や漢字も豊富で、駅、駐車場などは現代でも重要な交通用語です。かつて馬が活躍した時代がしのばれます。

さて、今年は、馬力アップして大いに頑張りますか、それとも馬耳東風……マイペースでのんびりいきますか。

いずれにしても、ウマく乗り切りたいものですね。

今月のページ

■新年のごあいさつ…2〜3ページ
■電算処理が始まる…4ページ
■椋鳩十さんをしのんで4ページ
■議会報告……5ページ
■消防出初式……5ページ
■町長と語る会……6〜8ページ
■民生委員に辞令……9ページ
■まちの話題…10〜11ページ（猫がカモを……）
■ちょっと小耳に…11ページ
■カメラ・ルポ12〜13ページ（人形劇団「ピノキオ」）
■さつま狂句，在宅医…15ページ
■おしらせ…16ページ

平成2年 1月号

●No.423　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62−2111●

21世紀への大きな躍進に向けて

加治木町長　宇都宮　明人

平成二年がスタート

農産物処理加工センター

待望の温泉もゆう出
…開発が進む龍門滝周辺

木田本通線は63年11月に開通

宇都宮明人町長

新年あけまして
おめでとう　ございます

天馬空を行く午年を皆様と共にお迎えできます事を大変うれしく思います。

私は、就任以来、町の進むべき「道しるべ」として大きく三つの目標をかかげてまいりました。

その一つめは、自然のストック（資源）の開発、二つめは、文化のストックの開発、三つめは、都市計画であります。以上の三つの柱を中心に、枝葉をつけて推進してまいりました。町政の重点施策は、すべてこの三本柱を中心に運営されております。

早いもので、今年は一期最終年度の四年目を迎え、総仕上げの年であります。

かえりみますと、過去三年間に成し得た主な事業は、教育関係では、竜門、柁城、加治木、永原の各小学校及び加治木中学校の新増改築、椋鳩十文学記念館の工事着手、農林関係では、龍門滝を核とした開発、多目的保安林整備事業及び宇曽ノ木渓谷開発事業の予算獲得、農産物処理加工センターの着工、ほ場整備等の予算の年々増額確保、農道、林道、シラス対策事業等の施工、土木・都市計画関係では、仮屋馬場通線の開通、木田本通線こ線橋及び錦江駅前通線（錦江駅前広場を含む）の着手、竹下橋・辺川橋・春日橋をはじめ五橋の完成・着手、県営住宅七棟（九十戸）の建設、町営住宅の建て替え着手、加治木警察署職員住宅四階建て（工事中）、県合同庁舎独身寮一部三階建て（工事中）、大蔵省加治木税務署住宅四階建ての誘致決定、国道10号線の予算獲得並びに促進、その他町内道路及び側溝等の整備、福祉関係では母子寮の建て替え、温泉試掘の成功、平成元年度新たに老人向けディ・サービス事業の設置、緊急通報システムの貸与、紙おむつ支給制度の新設、老人向け温泉バスの運行、町営バスの運行、上場地区上水道水源地の確保（溝辺町）等であります。

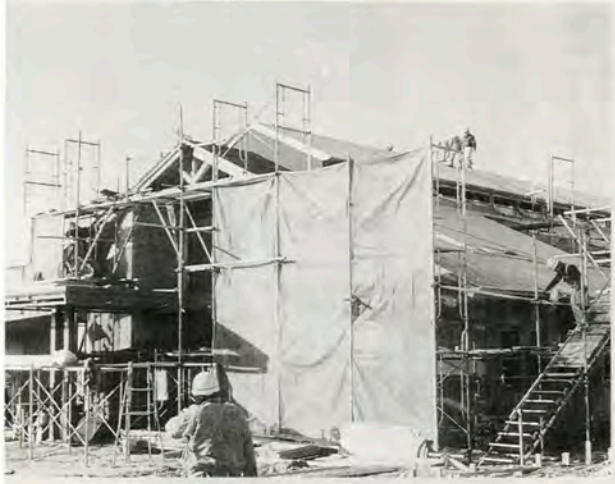
最終年度の総まとめとして、旧役場跡地の利用計画着手、海浜通線・岩原西通線の街路事業着手、木田振興地区の新総合開発計画の着手、諏訪後通線の整備及び諏訪地区新住宅団地の誘致、岩原地区の新住宅団地計画促進、温泉保養施設の促進、上場地区の開発研究着手、その他仮称・文化会館の研究促進並びに老人センター建設等の研究も、積極的に進めてまいる所存でございます。

町長と語る会につきましては、町づくりについてのたくさんの御意見や御提言をいただき、町政に対する町民の方々の熱い期待を、ひしひしと肌で感じる事ができました。今まで、約百五十件の御提言をいただき、即回答できたものと、検討を要するもの等がありましたが、御約束したものはすべて果たせたと思います。

加治木町は、陸・海・空と、どこにも負けないほどのすばらしい発展の要素を兼ね備えた町であります。ちょうど県の「ヘソ」の位置にあり、この恵まれた条件を生かし、今こそ飛躍の年だと思います。投資なくして町の発展はあり

明るい展望

加治木町議会議長 山崎 昭



「椋鳩十文学記念館」は
4月オープン（予定）

宇曽ノ木渓谷の開発に着手

新年おめでとうございます。

一九九〇年、平成二年の夜明けを皆様と共に寿ぎたいと思います。

昨年は、昭和の時代に区切りをつけた、記念すべき年となりました。一月七日、最長の記録となった昭和の世が終わりました。

日本が戦争に振り回され、苦難に耐えた時代でもありましたが、昭和二十一年から、敗戦の祖国復興にみんなが力を合わせて今日の礎を築いた時代でもありました。

「内平らかに、外成る」平成の世が、去年の一月八日から始まりました。平成二年の新年を迎え、町政はどのように動いてきたのか振り返って見たい。

政治は生きものです。頭を使い努力をすれば、それだけの成果が出て来ます。沈滞ムードや谷間論を跳ね返し、明るい展望が開けつつあると見ております。

やる気を出せば道は開けます。国や県の補助事業が、他町との競争に勝って実を結んでおります。それを踏まえて、平成二年はどのように進もうとしているのか、期待のかかるところです。

○町営温泉の活用…待望の温泉が噴出しました。レジャー施設はどの町でもほしいところです。

本町の場合、この温泉を中心にいろいろな構想が出ておりますが山坂達者な遊歩道、自然公園、疲れをいやす保養センター的施設など、その実現に向けて、事業が始まります。

○木田振興地区の開発…振興地区に幹線道路を通すことにより、ここも大きく変わることと思います。体育施設や運動場の整備、町民の夢を大きく広げて、国体も誘致できるような施設が、ほしいものです。

加治木に残された唯一の空間地この地に、緑の公園や大きな集会場など、道路網の整備と相まってすばらしい青写真が、今年中に出き上がるものと思っております。

平成二年にふくらむ大きな夢、ふるさと発展につながる施策は、なんとしても、実現させたいものです。

議会の使命は、町の施策を最終的に決定し、住民の立場に立って批判と監視をすることです。

町民の心を大事にする町政、町民のための施策と、その推進にみなさんとともに、大きな期待を持つものであります。

加治木町の躍進を、心から念願し、町民の皆様の御健勝をお祈りして、新年のごあいさつといたします。

山崎 昭 議 長

得ないと思います。21世紀まで残された十年、今こそ町発展への最も重要なカギを握る時期であり、一番大切な投資すべき最後の時期であると考えます。

町民の英知を結集し、官民一体となって、町民のための町政を推進してまいる所存であります。

終わりに、町民の皆様方のますますの御発展と御健勝を心から御祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成二年がスタート

一月八日　電算処理が始まる

住民票などの発行が速くなりました。

機械を稼動

窓口事務の迅速化を図る

住民情報オンライン稼動式

電子計算システムを活用し、窓口事務等の効率化や迅速化を図ろうと、町が一昨年から導入を進めていた「住民情報オンラインシステム」の稼動式が一月八日、任命権者やメーカーの代表など関係者二十人余りが出席して、町民室で行われました。

稼働式では、宇都宮町長が「電算化の目的は、住民サービスの向上と住民ニーズに即応した行政施策の確立です。第一次の結果を見ながら、更に改善を加え、第二次導入へと進めてまいりたいと思います」とあいさつ。テープ・カットの後、火入れ式が行われ、宇都宮町長と山崎町議会議長が機械のスイッチを押すと、「住民票」と「祝住民情報オンライン稼動式」の文字が画面に表示され、電算による処理がスタートしました。

今回、第一次では、住民票や税務課や福祉課、教育委員会の証明などに関するもの、国民健康保険や国民年金などの業務が電算化されており、住民票や税務の証明などがより速く、より正確に発行できるようになりました。

また、年齢別や自治会別の人口などのデータや、国民年金や国民健康保険の該当者のデータなども瞬時に取り出すことができるようになりました。

町では、プライバシーの保護を図り、システムを活用していくことにしています。

第一号は内村健一さん

この『火入れ式』の直後に、内原田の内村健一さんが住民課の窓口を訪れ、住民票を請求。宇都宮町長から第一号の「住民票」と、記念品が贈られました。

第１号の内村健一さん

椋鳩十さんをしのんで〈第12回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会会長
山口　正

広報紙「かじき」12月号が届き、二見編集長の文書が入っていました。これで打切りのご通報か、と思いながら読んでみると、愛読してくれる人も少なくないので、なおしばらく続けてほしいとのあいさつ状でした。

本当のところ、私は読み直すたびに、どうしても自分のことが出過ぎているなあ、これでは自己宣伝と見られるだろうなあ、そんな感じがしていました。

私としては、何とかして出来上がる椋鳩十文学記念館が、椋さんの精神を生かして文化の町教育の町らしく活動をしなければならない、それが、遠く離れた故郷のために御恩返しを兼ねた貢献となるのではなかろうかと念じてのことなのです。

この12月号を見ますと、東京加治木会のことを壱岐健志君が書いています。私も写真で見ると、町長さんの右の女性の、その右にいます。町長のお話の中の「教育設備の充実、研究機関の誘致など」、あのあたりで、山口の「椋鳩十さんをしのぶ」文について披露してくださいました。おかげで面目が立ったと思い、うれしくて、書きつづけたのが無駄ではなかったと、元気が出たのです。

私が責任者となって始まった子規の研究会のことウソではありません。又、親子読書の会の支部長は朗読研究会の仲間なのです。三月の子規研究会で講話することを頼まれましたので、西郷さんの詩歌や椋さんの作品と結びつけて語ろうと、目下その構案をこしらえているところです。お陰さまで私という人間が、あまり日の当たらない所で発言の機会に恵まれています。

どうか私を利用してくださいと申し上げたい。東京で椋文学研究会をこしらえろと、声がかかったら即座に動きますよ。

町長の熱意に応えて、文化の町、教育の町を目がけて町づくりに起ち上がりましょうよ。町長もおっしゃったし二見通信にもありましたので、読んでいる人の反応を私の耳で又は目で受け取りたい気持ちで一杯です。正月号に変な調子の文で御免。

議会報告

補正予算など十七の議案を可決

＝第四回定例会＝

第四回町議会定例会は、十二月十四日から二十五日までの十二日間の会期で開催され、一般会計補正予算や、「木田本通線こ線橋新設工事（第二工区）請負契約締結について議決を求める」議案など十七の議案を審議し、可決しました。

大英建設と契約を締結

木田本通線こ線橋新設工事

木田本通線こ線橋新設工事（第二工区）の請負契約については、大英建設と五千六百二十三万八千円で契約を締結することが決まりました。

これは、国道10号線側の擁壁工事と、橋台一基及び橋脚二基の基礎杭等の工事を実施するもので、工事期間は三月二十日までとなっています。

一億四千六百二十八万円を追加

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、町三役や職員の給与改定などに伴う経費四千四百三十三万三千円を含む一億四千六百二十八万円を、歳入歳出それぞれに追加するもので、一般会計の予算総額は五十三億九千三百七十八万三千円となりました。

追加された主なものは、次のとおりです。

土地開発基金費（繰出金）九百六十三万九千円▽在宅老人ディ・サービス事業委託料八十二万三千円▽老人温泉保養券補助五十五万九千円▽保育所地域活動補助百四十二万五千円▽老人医療特別会計繰出金ほか五百九十五万五千円▽土地改良事業費（用排水工事）二百四十万円▽道路新設改良費（須崎北線測量設計委託料ほか）百八十二万円▽町道舗装補修工事請負費二百万円▽現年災害復旧費（楠木坂線ほか）二千六百五十八万六千円▽農業用施設災害復旧費（下田地区ほか）一千七十三万円など。

心を1つにして

防火意識の高揚を

消防出初式

新春を飾る恒例の〝町消防出初式〟は一月十一日、役場グラウンドで開催され、東光義団長以下百六十二人の消防団員が、きびきびとした動作で、消防ポンプ操法や分列行進などを披露しました。

式典では、宇都宮町長が「昨年不幸にして三件の火災が発生し、尊い人命や財産が失われました。このような惨事を二度と引き起こさないために、町民が心を一つにして防火意識の高揚を図るとともに、消防施設の充実強化に努めなければなりません」と式辞を述べ参加者は、防火の誓いを新たにしていました。

また、石堂隼人さん（五歳）の指揮で、高井田・川野・かずみ・ひまわりの四つの保育所の幼年消防隊員が規律訓練を行った後、元気良く「火遊びはしません」と防火の誓いを宣言すると、参加者から盛んな拍手が沸いていました。

表彰を受けられた方々は、次のとおりです。（敬称略）

▽姶良伊佐支部長表彰

田代　快男（辺川分団　部長）
岩元　道男（辺川分団　班長）
宇都　和義（中央分団　団員）
前村　勝男（辺川分団　団員）
緒方　勝也（小山田分団　団員）

▽町長表彰並びに感謝状

■勤続章（三十五年）
東　光義（団　長）

■勤続章（三十年）
川村　吉弘（錦江分団　部長）
立山　経弘（中央分団　部長）
楠本　洋一（錦江分団　班長）

■勤続章（二十五年）
鶴　幸男（西別府分団　班長）
外村　秋夫（西別府分団　団員）

■勤続章（二十年）
有馬　義則（錦江分団　班長）

■勤続章（十五年）
田代　快男（辺川分団　部長）
岩元　道男（辺川分団　班長）
宇都　和義（中央分団　団員）
前村　勝男（辺川分団　団員）
緒方　勝也（小山田分団　団員）

■団員表彰
山下　憲夫（中野分団　部長）
谷口　利善（中野分団　班長）

■無火災表彰（出初式から一年間）
辺川分団（連続十九年間）
西別府分団（連続　九年間）
中野分団（連続　二年間）
錦江分団（一年間）

■団体表彰
㈱鹿児島県くみあいひなセンター
垂ノ口自治会自衛消防班

■町長感謝状
竹内敬一郎（元中央分団　分団長）
竹下　泰蔵（元中央分団　副分団長）
故　小屋敷勝（元中央分団　班長）
長谷　正治（元中央分団　団員）

▽消防団長表彰
福元　学（中央分団　団員）
山路　正春（中央分団　団員）
堂森　忠夫（西別府分団　団員）
犬童　良和（小山田分団　団員）
谷口　鉄雄（中野分団　団員）
吉永　卓（中野分団　団員）

▽消防後援会連合会長感謝状
上村　政清（元中野分団副分団長）
大野　秋夫（元錦江分団　団員）
石原　国昭（元錦江分団　団員）
今村　静（元中野分団　団員）
大園　廣（元辺川分団　団員）

新春の青空へ水のアーチ

町長と語る会（錦江第３地区，錦江第２地区，城南地区）

まちづくりのこと、暮らしのこと 町長とひざを交じえて話しました。

〝お互いの知恵を出し合い、魅力あるまちづくりを〟と「町長と語る会」が、今年も地区公民館単位で開催されています。

「語る会」では、道路や側溝の改修のことや、教育や福祉の問題、地域の活性化を図るための施策など、たくさんの御意見や御要望をいただきました。

今月は、錦江第三地区（十一月二十日）、錦江第二地区（十一月二十二日）、城南地区（十一月二十四日）で出された皆さんの声の中から、主なものをお知らせします。

道路・公園など

側溝の水が逆流

町道の側溝の水が、梅雨時期になると逆流し、家に入って来ます。何とかしてもらえませんか。

※　※　※　※

町道は、現在、十八万九千㍍あり、一番困った所、危険な所から改修を進めています。

もうしばらくお待ちいただきたいと思います。

港町公園の施設は

新しく設置される港町公園の施設は、どうなっているのでしょう。

※　※　※　※

港町公園は、三月十日に完成の予定で、工事を進めています。

敷地が南北に長いため、思うように広場が取れませんが、七十㍍のグラウンドは作れます。周りには、ツツジやイチョウ、サザンカなどの木を植え、大型ブランコ、砂場等も作りたいと思います。

また、水銀灯やトイレ、水飲み場なども作る計画です。

ガードレールを整備

ガードレールを付けて

町営運動場前の用水路は、梅雨時期になると水があふれ、道路と水路の区別もつかなくなるほどで危険です。ガードレールを付けるなど、安全対策をして欲しい。

※　※　※　※

以前から要望のあるところであり、下の方からガードレールを施工しているところです。特に危険が予想される所から改修をして行きたいと考えます。

湯湾嶽下の道路の改修は

後藤塚から西ノ原に行く湯湾嶽の下の道路は、学生が自転車で通り大変危険です。用水路にふたをしたらどうでしょうか。

※　※　※　※

この道路は、六十三年から年次計画で、七㍍の幅員で改良を進めています。

用水路にふたをすると、中の掃除も出来なくなりますし、田んぼの方を買収し、できるだけふたをしない方法で実施していく計画です。全長が七百六十㍍あり、期間がかかると思います。

計画的に改修を

新しくなる町営温泉

町づくりなど

新築の計画は 町営温泉

町営温泉の新築を計画されていますが、どんな構想が……。

※　※　※　※

現在、林野庁に申請しており、木を多く使ったものになるだろうと思います。いろいろなアイディアが出されており、一階は風呂場に、二階は洋式の部屋に、三階は展望つきのレストランなどにと、今、検討している所です。

また、竜泉閣の方は、まだ使えますので風呂場を大きくして残そうかとも考えています。

下水道事業の計画は

下浜地区は、宅地が平坦なため側溝の流れが悪い。早急に下水道事業を推進していただきたいが、計画はどうなっているのでしょう。

※　※　※　※

下水道事業については、今、始良町と取り組んでおり、話し合いがつけば来年度中にも基本計画を推進してゆきたいと思います。

それでも、供用開始は十年後ぐらいになりますので、それまでは今の側溝を改修してゆきます。

特産品の販売も…役場跡地

役場跡地の利用は

役場跡地は、現在、駐車場として使用されているが、今後の利用計画は……。

※　※　※　※

いろいろな角度から検討を進めていますが、今、「木の文化にふれ合う事業」で、町の特産品等を販売する木造の施設を作れないか県と折衝中です。まわりにはベンチ等も置いて、町民が憩える場にしてゆきたいと考えています。

シェル用地などの活用は 木田振興地区

町は、振興地区のシェルや労住協などの用地について、どういう構想を持っているのですか。

※　※　※　※

シェルや労住協などの用地については、開発公社で購入することにしています。

できるだけ緑を残し、国際試合ができるサッカー場の誘致や、公園、インドアのテニス場や体育施設などスポーツ・ランドのようなものを作りたいと考えています。

保健衛生、福祉など

故障のため〝休止〟？ 弥勒のじんかい処理場

弥勒のじんかい処理場は、今、休止しているが故障なのか。

※　※　※　※

故障ではなく、水切りが悪く、タイヤを一緒に燃やして処理していたため、耐用年数の半分もたたないうちに使えなくなってしまったものです。

現在、吉田町で処理しています

休止中のじんかい処理場

が、五十トンの処理能力に対して六十トン持ち込まれており、これも限界にきています。

ぜひ、水切りや燃えるごみと燃えないごみの区分けをしていただくようにお願いいたします。

介護手当の支給は

他町では寝たきりのお年寄り等を介護している人に手当を支給している所もありますが、本町では考えていないのでしょうか。

※　※　※　※

本町では、金の面でなく、ホームヘルパーの派遣や入浴のサービスなど、心とボランティアでやって行きたいと考えます。ディ・サービスも始めますし、いろいろな事業も実施していますので、ぜひ活用していただきたいと思います。

町長と語る会

町長と語る会

教育など

楽器や音楽室の計画は

錦江小学校

錦江小学校の金管バンドは、現在、部員が五十六人おり、音楽室が狭くて困っています。

今度の増改築の計画には入っているのでしょうか。

また、楽器も個人のものや、借りているものが多いのですが、購入する計画はありませんか。

※　※　※　※

私も、全国でも高い評価を受けた演奏を聴いて、本当にすばらしいと感じました。

改修される錦江小学校

ぜひ、今回の大規模改修の予算の中に音楽室や楽器も、何とか組み入れたいと考えています。

学校の校庭に夜間照明を

子供たちのサッカーを指導していますが、冬はすぐ暗くなり練習ができません。校庭に夜間照明を付けてもらえないでしょうか。

※　※　※　※

校庭の夜間照明は、近所の人などとの関連もあり、現在のところ考えていません。まず、グラウンドの整備が先だと思っています。

キャンプ場の建設を

子供会のキャンプを、道具はあるのですが場所がなく、いつも町外で実施しています。

町内にキャンプ場を作る計画はありませんか。

※　※　※　※

現在、宇曽ノ木滝周辺の開発を国の「多目的保安林整備事業」で進めており、高岡公園と龍門滝をつなぐ〝つり橋〟や遊歩道などを作る計画です。そのなかにキャンプ場やサイクリングコースなども設けたいと思います。

端山バス停に雨よけを

端山神社前の町営バスの停留所に、雨よけを作って欲しい。

※　※　※　※

端山神社前は歩道があり、作ると通行人に迷惑がかかることも考えられます。旧役場跡地への移転も含め検討したいと思います。

その他

バス停を新設して

インター・チェンジ付近

南国バスの停留所は、農協前の次は布越にしかない。インター・チェンジ付近に、バス停を新たに設けられないか。

※　※　※　※

今、建設省がインター・チェンジを広げており、もう少ししたら形が決まります。要望はしていますが、しばらくお待ちいただきたいと思います。

納税組合のメリットは

納税組合制度は、今後も継続するのか。この制度のメリットは。

※　※　※　※

納税組合制度は、納税意識の高揚や、納め忘れがない、納税報奨金を活用し地域の連帯感を深められているなどのメリットがあり、皆様方の御理解と御協力により存続させていきたいと考えます。

役場中庭に自転車置き場を

役場の中庭に「来客用の自転車置き場」を設置して欲しい。

※　※　※　※

現在、北側の池の所にあるものを、収入役室前に移転する計画です。また、グラウンドも排水が悪いため、改修したいと思います。

中庭へ移転

「町長と語る会」地区別開催状況

参集地区	月　日	会　場	加員 参人
錦江第３地区	11月20日	豊町公民館	３２人
錦江第２地区	11月22日	岩原公民館	４３人
城南地区	11月24日	福祉センター	５８人

※参加人員には，町関係者は含みません。

三十人に辞令を交付

民生委員・児童委員

民生委員・児童委員三十人の辞令交付式は、十二月四日福祉センターで行われ、宇都宮町長が委員一人一人に「よろしくお願いします」と、厚生大臣からの委嘱状を手渡しました。

新しい委員は、左の表の方々です。（敬称略）

また、長年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉の向上に尽力されてきた田中實さんら十三人に、その労をねぎらい感謝状が贈られました。

表彰を受けられた方々は、次のとおりです。（敬称略）

田中　實▽後藤重春▽竹内親男▽前田幹子▽坂元重子▽永原武男▽山元重志▽岡山秀樹▽岩下鉄男▽梅木文吉▽山口直矢▽竹下虎雄▽西濱重光

龍門滝の前で固い握手を

「りゅうもん」の滝を売り出そう

九重町と観光開発で意見交換

「竜門の滝」を観光資源にもつ大分県九重町の観光協会の一行二十七人が、十一月二十八日加治木町を訪れ、大吉操会長をはじめ、町観光協会の関係者と「同じ名前の滝を持つもの同士、りゅうもんの滝を大いに売り出そう」と交流を深めました。

これは、昨年、加治木町の観光協会が九重町を訪れた返礼として訪問したもので、この日は、大吉操・町観光協会長らの案内で龍門滝などを見学したあと「滝を生かした観光地づくり」をテーマに意見交換が行われました。

意見交換会では、滝滑りが楽しめキャンプ客などでにぎわう九重町側から「駐車場の整備を」「特産品の販売店を作ったら」などの提案があり、両町の観光協会では今後も毎年会議を開き、交流を深めていくことを確認しました。

民生委員・児童委員名簿

校区	氏名	担当自治会	電話
柁城	下松瀬　正良	端山，下新道，新町	63－5836
	永井　チリ子	今町，上浜，中浜，下浜	63－1742
	竹山　洋子	小陣，東諏訪，西諏訪 反土黒川	62－2771
	冨岡　アヤ	於里，札立，新富団地，棚目	63－3208
	鎌田　靖子	柳田，萩原	63－0260
	野間　ミヨ子	蔵王団地，城，口ノ町，内原田	63－4601
	立山　恒幸	蒲生田，江湖，西町，垂ノ口 天神	62－2021
	宇都米　雄	吉原，東吉原団地	63－0263
	犬童　麗子	里ノ上，里ノ下，日木山黒川 日木山団地	62－2714
	中村　敦子	竹下，川原，西反土前 西反土後，田中	62－3009
	今村　政幸	弓削，楠原	63－3430
	冨永　義則	長谷，中野	62－1600
錦江	岡山　俊夫	向江町，南塩入，東塩入 中塩入	63－1287
	倉元　妙	岩原東，岩原西	63－2232
	杉田　ミチ	須崎，浜村	63－3510
	岡山　三男	江口団地，西江口団地 西塩入上，西塩入中，西塩入下	63－3313
加治木	北薗　文夫	楠園，中福良東，中福良後 上木田	63－0636
	岩元　博子	高井田，春日団地，空港団地	63－2800
	福元　正美	新中，西ノ原，赤坂	63－2274
	原口　道子	小鳥，中央，原ノ門	63－4666
	米津　ミキ	弥勒，豊町	62－3055
永原	後藤　正徳	菖蒲谷，曲田，桑迫，桃木野	62－1334
	大宮路　任	市野々，市野，鶴原，辺川中 辺川下	62－0858
	中村　正紀	永原，隈原上，隈原下 提水流，丸岡	63－1093
	堂森　勇	上嶽，下嶽，東ひなば，西ひなば	62－0833
竜門	川野　義夫	布越，井手向，小田倉，高崎 岩穴口，御狩山	63－1187
	井上　福井	迫上，迫下，徳永	62－1714
	柚木　健一	石野，西浦西，上東木，下東木 赤谷，永山，鞍掛	62－1766
	薗田　盛信	毛上，麓，茶碗屋，伊部野	63－3573
	東木　武一	宮田ケ平，新開，川内，市来原 地久里，上川内	62－1729

●身近な話題やニュースは文書係まで（☎62—2111）

TOWN NEWS ●まちの話題

猫が〝育ての母犬〟にカモをプレゼント

退院祝い（？）に 江湖の大迫さん宅

江湖の大迫建三さんが飼っている猫の「ハッパ」が一月十一日、丸々と太ったカモを捕まえ、近所の話題になっています。

「ハッパ」は、三年前、大迫さん宅の犬「花子」の寝床に、いつのまにか潜り込んできた迷い猫で「花子」が自分の乳を与え育ててきました。

「花子」は、手術して二～三日前に退院したばかり。大迫さんら家族は「花子の退院祝いにと、網掛川の堤防を乗り越え、捕ってきたのかも……感心なもんじゃ」とおどろいた様子でした。

「ハッパ」は、一昨年のクリスマスイブにもカモを捕まえてきたことがあり、大迫さんは「二度あることは、三度？」と、期待に胸をふくらませています。

こんな猫、ほかにいませんか？

私が捕まえたカモよ

「ハッパ」の母犬「花子」です

アイディア・パーティを開催

竜門小学校で「研究公開」

異年齢集団の中で、上級生が下級生を指導しながら運営する、子供たちの手作りの集会「アイディア・パーティー」が十二月一日、竜門小学校で開催されました。

これは、竜門小学校が、姶良地区の「特別活動」研究協力校として、六十三年度から二年間〝児童自ら作り上げる生き生きとした集会活動の手だてはどうあればよいか〟をテーマに、研究実践を進めてきた成果を発表したものです。

研究授業では、巨大すごろくや喫茶店、巨大パズル、福笑い、巨大ボーリング、校内を回るオリエンテーリングなど、アイディアを凝らした六つのコーナーを、子供たち自身が運営し、楽しむ〝全校集会〟が行われました。

コーナーの一つ、喫茶店では、上村大恵さん（一年）と脇和弘さん（四年）が〝初めて焼いたホットケーキ〟をサービス。「おいしい、おいしい」と大好評でした。

研究授業は、最後に、山口裕二実行委員長が「みんながまとまらなければ、すばらしいコーナーはできません。最後までできたことが一番すばらしいと思います」とまとめを行い、閉会しました。

なれない手つきで

巨大福笑いのコーナー

僕だけの、私だけのカレンダー

加治木小学校の六年生が製作

加治木小学校の六年生が十二月十九日、各クラスごとに、僕だけの、私だけの〝一九九〇年のカレンダー〟を製作しました。

これは、卒業記念を兼ねて、毎年実施しているもので、大きさはA3版。各月ごとに二～三人ずつに分かれて題材を決め、ゴム版画で共同製作しました。

題材は、六月の「クモ合戦」や八月の「太鼓踊り」など伝統行事をテーマにしたものや、水泳大会（九月）、持久走大会（十一月）など学校の行事を題材にしたものなどそれぞれ工夫されています。

うまくすれたかなァー

表紙です

表紙の「馬踊り」を担当した田畑瑠美さんと川口千草さんは「馬の飾りを彫るのが難しかった。自分の部屋に飾って、大切にします」と、大喜びしていました。

カレンダーは、各クラス五十点を製作し、校長室や町長室などにも飾られました。

三彩や黒ものなど五千点を即売

第六回龍門司焼陶器まつり

じっくり品定め

県の指定無形文化財である三彩焼の作品や、龍門司焼系の代表である黒ものなど五千点余りを展示即売する「第六回龍門司焼陶器祭り」が、十二月九日と十日の二日間、小山田の窯元で開催され、おおぜいの人でにぎわいました。

この日は、三彩や鮫肌、どんこなど龍門司焼独特の技法で作られた花瓶やつぼ、茶器のセット、黒じょかなどのすばらしい作品が、市価の二～三割り引きで即売され県内外から訪れた〝陶芸マニア〟は、一つ一つ品定めをしながら、つぼなどを買い求めていました。

ちょっと小耳に

市野久子さんが〝優秀賞〟に

第三十九回 県肉畜共進会

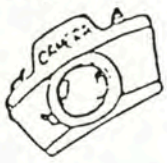
鹿児島中央家畜市場で開催された「第三十九回県肉畜共進会」で市野久子さんの育てた「よしみず号」が、見事〝優秀賞〟に輝きました。

県肉畜共進会は、十二月八日と九日の二日間、伊集院町で開催され、加治木町からは市野さんの牛のほか、石原五男さんと下楠薗正昭さんの牛も〝添え牛〟として出品されました。

おめでとうございました。

優秀賞に輝いた「よしみず号」

カメラ・ルポ



「こびととくつや」などを熱演

ママさん人形劇団「ピノキオ」

ママさん人形劇団「ピノキオ」のクリスマス公演が、今年も十二月二十日、町立図書館の日本間で開催され、おおぜいの子供たちの夢をはぐくみました。

この日は、「こびととくつや」と三匹のヤギが登場する「がらがらどん」の二つの劇を熱演。集まった八十人余りの子供たちとお母さん方は、一つ一つの人形の動きに見入っていました。

ママさん人形劇団「ピノキオ」（日高栄子代表、会員八人）は昭和五十五年に結成。五十体余りの人形も自分たちの手作りで今では、レパートリーも二十余りに増えました。

転勤族のお母さん方が多いため、悩みは何といっても会員の確保。異動も激しく、九年間続いているのは、日高さん一人になりました。知人の紹介で、今年三月会員になられた杉山伸子さんも「楽しかったけれど、転勤で脱会しなければならないんです」と話していました。

日高さんは「来年は、結成十周年を迎えます。子供たちの喜ぶ顔を見ると、ずっと続けたいですね」と話されました。

瞳を輝かせて人形劇に見入る

町の玄関〝加治木駅〟をきれいに

地区公民館長が構内を清掃

〝町の玄関・加治木駅をきれいにしよう〟と十二月十七日、篠崎秋明館長をはじめ地区公民館長十八人が、加治木駅構内の清掃に汗を流しました。

この日は、カマや草刈り機などを使って、駅構内に生い茂っている草を払ったり、線路沿いに投げ捨てられている空き缶やゴミを拾い集め、二時間余りかけてきれいに清掃しました。

フェンス沿いの草の中からは買い物袋に入った生ゴミや紙くずなども出てきて、公民館長さん方は「だれが捨てるのだろう」とおどろいた様子でした。

構内を清掃

蒲生田通りに響く賛美歌

双葉幼稚園の園児が願いを込め

白い清楚なガウンを身につけた双葉幼稚園（大工園純孝園長）の園児三十六人が、クリスマスを前にした十二月二十二日、蒲生田通りで「きよしこのよる」や「もろびとこぞりて」などの賛美歌を力いっぱい歌い、道行く人を魅了しました。

これは、家々を回り神の御加護を授ける、というキリスト教のクリスマスの行事に習い、町民の幸せを願い、毎年実施しているもので、この日は、鹿児島銀行前やエビスヤ前などで、すばらしい歌声を披露しました。

かわいらしい歌声が

二トンダンプいっぱいの空き缶が

町衛生協会の理事が清掃

町衛生協会（中山澄雄会長）の理事十七人が十二月四日、仮屋馬場通線や日木山川沿い、蒲生田通りなど四コースに分かれ空き缶拾いを実施しました。

この日は、ゴミ袋を手に、道路や河川沿いに投げ捨てられている空き缶やゴミを拾って歩きましたが、二時間たらずの間に二トンダンプいっぱいもの空き缶が集まり、中山会長らは「こんなに多いとは……」と、なかばあきれた様子でした。

ゴミ袋を手に

交通標語の看板を設置

加治木小学校が校区内に

「右左見て　正しくわたる　加治木の子」「みんなして　ルール守れば　事故はなし」……加治木小学校では〝子供たちを交通事故から守ろう〟と十二月五日、校区内の五か所に「交通標語」の看板を設置しました。

標語は、飛び出しなどによる事故が増加していることから、交通安全に対する意識の高揚を図ろうと、子供たちから募集し各学級から提出された優秀作品十八点の中から子供たちが選んだ十点を、看板にしたものです。

この日は、児童運営委員の羽嶋豊春さんと六年生六人や木田第三地区公民館長、先生方などが、楠園公民館前や学校の正門前などに看板を設置しました。

小鳥の小原真実さん（三年）は「私の標語が看板になってうれしい。みんなが看板を見て、ルールを守るようになればいいなあ」と話していました。

楠園公民館前にも設置

手作りの〝しめなわ〟でお正月

子ども会員ら百六十九人が挑戦

子供たちにものをつくり出す喜びを体験させるとともに世代間のふれ合いを図ろうと〝しめなわつくり〟が十二月十七日、町営体育館で開催されました。

これは、町子ども会育成連絡協議会が主催したもので、子ども会員や青少年地域活動の参加者、町婦人部の方々など百六十九人が参加。町子連の岩元会長からしめなわの由来などを聞いた後、岩元徳志さんや薗田義則さんらの指導で、中心から七本・五本・三本のタレを付けたしめなわ作りに挑戦。みんな立派な出来ばえで「手作りのしめなわで、良いお正月を迎えられます」と、大喜びしていました。

ここはこうして……

日高洋士さんと南こずえさん

▲南こずえさんと▲日高洋士さんの作品

手作りのしめなわなどを販売

にぎわった老人バザー

家庭の不用品や野菜、手作りの〝しめなわ〟などを持ち寄り老人バザーが十二月二日福祉センターで開催され、千三百点余りの品が、一時間たらずで売り切れるほどの盛況ぶりでした。

これは、町老人クラブ連合会が毎年開催しているもので、会場ではタオル、せっけん、皿などのほか、下楠薗勲さんや薗田義則さんが作った〝しめなわ〟などが、市価の二～三割の価格で販売され、開場をまちかねた人たちは、われ先にとお目当ての品を買い込んでいました。

売上金は、各老人クラブの活動資金として活用されることになっています。

お目当ての品を…

日高洋士さんら二人が県で特選に

明るい選挙啓発ポスター

加治木中学校の日高洋士さんと南こずえさんが描いた「明るい選挙啓発ポスター」が、県の審査で〝特選〟に輝き、また、古賀りえさんらの作品が〝入選〟に選ばれ、十二月十一日県庁で表彰式が行われました。

これは、〝児童・生徒のみなさんに、明るい選挙をおしすすめるうえに役立つポスターを書いてもらおう〟と選挙管理委員会が毎年募集しているもので、今回は、加治木中学校から四十点の応募がありました。

町と県の入選者は、次の方々です。（敬称略）

〔町・入選〕一年……田中康子　古賀りえ・大栄文及▽二年……蓬原則行・南こずえ・外村志乃▽三年……村岡真一・日高洋士　一氏清子・森木ひとみ

〔県・入選〕古賀りえ（一年）▽外村志乃（二年）▽一氏清子（三年）森木ひとみ（三年）

背すじを伸ばしてはつらつプレー

第十一回はまなげ大会

平成二年の初春を飾る〝はまなげ大会〟は一月五日、町営運動場で開催され、明治青年六十人余りが背筋をピンと伸ばして、熱戦を展開しました。

これは、郷土の正月の遊びを伝承してゆこうと、町老人クラブ連合会（稲田進会長）が会員に呼びかけ毎年開催しているものです。

この日は、五人ずつに分かれてカシの木を輪切りにした直径五センチ余りのハマを打ち合う団体戦や、ハマの飛距離を競うセコ打ちが行われ、参加者は「そら、今じゃが打てっ」「追いかけんかァ」などの盛んな応援を背に、はつらつとしたポットさばきを披露していました。

結果は、次のとおりです。

■団体戦
▽優勝……東元チーム
▽準優勝……岩原チーム
▽三　位……竜門チーム

■セコ打ち
▽優勝……井上福井（68メートル）
▽準優勝……安藤良光（64メートル）
▽三　位……中神　正（59メートル）

そらきたぞっ…打てっ

井上福井さん

厚生大臣表彰に輝く

端山の国民年金納付組織

表彰状を手に

端山の国民年金納付組織（外山こずえ代表・会員六十七人）が十一月二十一日、厚生大臣表彰に輝きました。

これは、端山国民年金納付組織が、長年にわたり掛金の期限内納入に努められ、国民年金事業の普及に尽力されてきた功績が、高く評価されたものです。

表彰状の伝達は、県文化センターで開催された「国民年金法施行三十周年記念大会」の席上行われ外山こずえさんに県民福祉部長から表彰状が手渡されました。

クモ合戦などのみこしが練り歩く

盛大に加治木小のまつり

加治木小学校の伝統行事〝加治木小のまつり〟は、十一月十一日開催され、クモ合戦や桜島、加治木まんじゅうなど、子供たちの手作りのみこし十九台が、運動場を元気良く練り歩きました。

みこしは、地区別に分かれた四十人程度の異年齢集団の中で、上級生が下級生を指導しながら、材料の段ボール箱や空き缶集めから始め、十日余りをかけ、力を合わせて製作したものです。

この日は、父母ばかりでなく、三世代の交流を図ろうと、地域のおじいちゃんやおばあちゃんたちも招待され、子供たちの元気なみこしパレードに盛んな拍手を送っていました。

みこしをかついで元気いっぱい

Aクラスは加治木スポーツが優勝

秋季婦人バレーボール大会

熱戦を展開

秋季婦人バレーボール大会はAクラス五チーム、Bクラス五チームの十チームが参加して十一月二十六日、町営体育館で開催され、熱戦が展開されました。

大会は、予選リングで二勝した竜門と加治木スポーツ、ハッピーコスモと錦江フレンドが決勝トーナメントに進出。Aクラスでは加治木スポーツが、また、Bクラスでは錦江フレンドがそれぞれ優勝しました。

竜門句会

火山灰被る蜑の集落石蕗の花　加藤　白柳

開拓の彼の日は杏し郁子熟るる　神村　洋子

白鷺のつかずはなれず冬田鋤く　古江　重美

マスクして表情失せし別れかな　佐々木　霞

峠路は天に消え入る蕎麦の花　内田美津代

無為の身の更に無為なる風邪に臥す　高木　正男

月末の稿真白なり鵙猛る　白尾　澄子

露けしや神鈴の綱黒びかり　川崎　黒兎

マスクして眼鏡の曇り拭かぬまま　恒吉　斗南

粧ひし山真向ひに凍つる朝　竹山　洋子

体調の良きも悪しきも秋の暮　田代　俊泉

句狂さつま

▼兼題『焼酎』（しょちゅう）　榊　牛尾先生　選

天　揉め事も　焼酎で治まっ　郷中ん集い　田中　楓

唱　てげな事ずや　良かがよかがち

地　バーん焼酎　後は四ふき　薄すけなっ　永吉竹林

唱　あとは色気で　飲ますっ気じゃろ

人　胃薬ゆば　焼酎で飲んくだ　腸曲がい　鮫島四男坊

唱　言こつ為いこつ　人並んじゃ無が

▼席題『商ね』（あっね）　榊　牛尾先生　選

天　牛馬商　袂ん中で　商ねしっ　高木牛丸

唱　胴巻きな銭の　ずーち入れちょっ

地　両替えあ　次回ぐば当てしっ商ねしっ　佐藤蔵王嶽

唱　内心とは別な　笑顔をつくっ

人　細々と　婆さん一人で　よか商ね　福永さつき

唱　稀けな客きも　お茶どん出せっ

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

暮らしのワンポイント

照明器具の手入れ

十分な明るさを確保しよう

外気の冷たい冬は、とりわけ屋内にいる時間が長く、その分、照明の明るさが気になります。

明るさが不足すると視神経が疲労しやすくそのため肩がこったり全身疲労の原因になったりします。

ですから、特にお年寄りのいる部屋は、十分な明るさを確保したいものです。

照明器具を取り付けたときは明るくて気分のいいものですがそのうち、掃除を怠ると、ほこりなどがたまり、明るさは一年間で三割近くも落ちる場合があるといわれます。

ふだんは、はたきをかけたり電気掃除機でほこりをはらい、年に二、三度くらいは本格的に掃除をするようにしましょう。

掃除をするときは、必ず電源のスイッチを切るのを忘れないように。

ガラスやプラスティクのかさはぞうきんに住居用の洗剤を含ませてふき、その後、水ぶきをします。これだけで明るさはぐんと増します。紙や布製のかさの場合は、水ぶきは禁物です。柔らかめの乾いた布でふき、ほこりを落としましょう。

一緒に、電球や蛍光灯、コードの掃除も忘れずに……。

スタンドの場合は、かさの内側に、台所で使うアルミ箔をはると、反射の光が増して、思わぬ明るさになります。一度、試してみてください。

夜中に、電気のスイッチを探し、まごついた経験はどなたにもあることでしょう。蛍光テープをスイッチにはっておくと、暗やみでも一目で分かります。

お知らせ

昭和58年から七十一回にわたり、「薬草」のシリーズに玉稿をお寄せいただきました上萩大治氏が、去る一月七日お亡くなりになりました。

生前、故人から賜りました御厚情に対しまして、心から感謝申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。

2月の日曜在宅医

※診療時間は，午前9時～午後5時まで（原則として）

※当日の往診並びに緊急以外の受診は，御遠慮下さい。

	在宅医	住所	☎
4日	池田医院	本町	⑥2 2220
11日	大川医院	錦江町	⑥2 2032
12日	川畑医院	錦江町	⑥3 1499
18日	壱岐医院	溝辺町有川	⑤9 2627
25日	徳永医院	溝辺町麓	⑤8 2302

加治木町役場は4月から第2・第4土曜日は休みとなります

加治木町役場は四月から、第二・第四土曜日が休みとなります。御協力をお願いいたします。

◆休みとなる所
役場庁舎▽学校給食共同調理場
水道課

◆なお、次の所は、今までどおり業務を行います。
小・中学校▽町立幼稚園
町立保育所▽町立図書館
（郷土館を含む。）

●「出生届」「死亡届」「婚姻届」などの受付や、「埋葬許可証」の発行は、従来どおり〝日直〟が行います。

●今まで収入役室で納めていただいた税金、保育料、住宅使用料などの納期が「第二・第四土曜日」に当たるときは、月曜日に納入期限が変更されます。

※詳しくは、総務課にお問い合わせ下さい。

事前に、道路との境界の確認を
「町道」の御相談は土木課へ

町道などと隣接して、盛土や工作物などを施工される場合には、事前に、「道路管理者」と境界を確認されてから施工するようにして下さい。

従来から、町道に接して、埋め立てやブロック積み等を施工される場合は、土木課と境界立会いのうえ施工していただいておりますが、まれに立会いをせず施工されるか所が見受けられます。

事前に、道路との境界確認をせず施工されますと、手直しなどが生じる場合もあります。

町道の場合は、土木課と境界確認のうえ施工されるようお願いいたします。

※お問い合わせは
町土木課　☎62－2111
内線210

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権養護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七－二B－一四
（☎63－3787）

中摩多美子　反土二七五六
（☎62－2768）

竹下利行　木田一四九
（☎63－1818）

たこあげは電線のないところで

たこあげのシーズンです。お父さん、お母さんへお願い。

電線の近くでは、たこを絶対あげないように、お子様へ御注意下さい。

もし、たこが電線にかかったら危険ですから自分で取らずに、九州電力・加治木営業所へ御連絡下さい。（☎62－2128）

●電柱に登って取るのは、やめましょう。

●電線を竹さおでつつくのは、大変危険です。

うぶ声

出生児　**保護者**　**自治会**

上松瀬さやか　辰也　里ノ下
川上　久志　幸男　西諏訪
古川　智崇　巧　空港団地
福島知栄子　八十一　柳田
津曲　希昌　進　西江口団地
色紙　実香　正浩　中塩入
色紙　里紗　正浩　中塩入
下津佐洋子　隆幸　西諏訪
岩澤　英翔　英司　柳田
中間　広大　博英　上浜
中原　恵　武廣　東塩入
北原あす華　和博　赤坂
逆瀬川純輝　純郎　原ノ門
増田　駿　一弘　空港団地
福末　将人　勝美　岩原西
永井　禎仁　修二　空港団地
浜島　彰吾　孝幸　豊町

▽十二月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円
高井田　古田　悟（祖母ユキノ九〇）
三万円
萩原　枝元長道（母　田鶴七九）
五万円
須崎　白濱喜久（夫　次彦八五）
二万円
井手向　前田イクエ（夫　一二七五）
三万円
垂ノ口　木原久子（夫　寛　六一）
二万円
中野　有村　進（次男　昌弘四三）
二万円
豊町　坂口雄幸（父　篤信八九）
二万円
弥勒　本多竹則（母　トセ七八）
三万円
辺川下　大園増美（母ケサギク八七）
二万円
蒲生田(2)　森高　諭（母　千代七七）
五万円
岩原東　井元左千子（夫　淳八一）
五万円
迫下　米森アイ（夫　正助九〇）

＝町身体障害者福祉協議会へ＝

一万円
里ノ下　川崎鉄雄（次男　清二九六）

▽十二月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

◇　◇　◇

記事訂正とおわび

十二月の「農業祭」の記事中、誤りがありました。深くおわびし次のとおり訂正します。

（ポスターコンクール）
誤　銅賞　渋谷友香（錦江小六年）
正　銅賞　渋谷友香（柁城小六年）